

地震・津波による避難訓練を行いました



1月17日（水）に、地震・津波による避難訓練を行いました。
 今から29年前の1月17日に、兵庫県南部地震が起こりました。阪神淡路大震災です。毎年、1月17日には、「1・17集会」を行い、阪神淡路大震災のことを教訓に、災害に備えるよう防災について考えています。



地震が発生したら、

- ①出口の確保をします。
- ②頭の保護をします。
- ③自分の身を守ります。

避難の原則は、「危ない場所から早く離れること」です。

- ・無駄話をしません（大切な情報を聞き漏らさないように）。
- ・自分で適切に判断をします。
- ・素早く行動します。

児童会主催の『1・17集会』を行いました。

みなさん、焦らずに安全に避難することができましたか。落ち着いて避難することで、けがを防ぐことができます。



自然災害、特に地震は何の前触れもなくやってきます・・・兵庫県南部地震（阪神淡路大震災）・東北地方太平洋沖地震（東日本大震災）・能登半島地震・・・。私たちの住んでいる日本は、災害の多い国です。日頃から災害が起きた時の備えをしておくことが大切です。

備えの一つとして、家族とハザードマップを確認したり、防災グッズを用意したりするのはどうでしょうか。家族がばらばらになった時に集合する場所を決めておくのも大切です。

また、災害が起きた時は、助け合うことも大切です。自分たちにできることは何かを考えて、行動していきましょう。



黙祷を行いました。

命は、かけがえのない大切なものです。日頃から災害に備えることを意識して生活をしましょう。いざという時には、自分の命も周りの人の命も守れるように備えましょう。

《避難訓練：校長の話より》



『天災は忘れた頃にやってくる』という言葉があります。

私たちの住む兵庫県では、今から29年前に、大きな大きな地震が発生しました。兵庫県南部地震です。その災害（阪神淡路大震災）により、6434の方が亡くなりました。もっともっと生きたかったはずです。地震は本当に恐ろしいものです。

私たちは、阪神淡路大震災のことを知り、災害に備えることが大事です。



今年の1月1日には、能登半島地震が発生しました。今も、雪の降る中、救助活動が続いています。一日も早く穏やかな日々が訪れることを願っています。

平荘小学校では、R3年度から『はるかのみまわり絆プロジェクト』を進めています。そして、昨年度（R4年度）は、『命の一本桜プロジェクト』を行いました。今年度は、1月27日に、人権・防災講演会を計画しています。

これらのことを実施することで、みなさんの心の中に、防災について意識する機会ができればうれしいなと考えています。

1月16日の新聞に、「1分で〇〇」という記事が載っていました。

「この1分」とは、何を表しているのでしょうか？能登半島地震が起こってから、津波が到着するまでの時間が1分だったそうです。

東日本大震災の津波は、地震発生から30～40分かかっています。

津波の到着時間はいろいろですが、地震が発生したら津波がやってくるとセットで覚えておきましょう。



災害に備えることは、水や食料を備えることはもちろんのこと、人とのつながりも備えましょう。

そのためには、日頃から地域の方々とあいさつをすることが大事です。

災害が起こった時にどうするかを、家族で話し合いましょう。そして、自分の大切な命は自分で守れるようにしましょ。